被災者復興支援企画

（仮）新春箏楽サロンコンサート

企画・立案
かわいキャンプ ボランティア　田澤　隆
企画・立案協力
神戸大学大学院　教授　金子　由芳

1) 企画主旨

仮設住宅への入居も一段落となりましたが、沿岸地域での様々なボランティア活動を通して感じたことは、同じ地区の人たちでまとまっているとはいえ、まだまだ、ご近所との交流など希薄な部分もあります。さらに　日毎に寒さを増している現在、外出もままならない年配者にとっては、厳しい年の瀬となることは想像に難くありません。そして、若い命が奪われ、自分のような年寄が生かされたということに対する自責の念に駆られた人も少なくないのです。

今まで行ってきたサロンでの演奏活動の経験からすれば、素直に共感を得られることから、被災者の方々の音楽に対する感動の声とともに、自分たちの境遇・苦労話等を、自らお話してくださるのです。最後には「また来てくださいね」という言葉も頂きます。これは、将来に対する楽しみが増えたということで、わずかですが生きる希望が見えたということです。

そこで、このサロンの持つ意味を考慮し、新年を新たな気持ちで迎えられるように。さらにご近所との交流をより深めていただく一助となることを願い企画しました。

2) 企画内容

箏楽ボランティアの、琴による新春サロンコンサート

※女性の為に、支援物資の着物を提供して華やいだ雰囲気も楽しんでもらう。

※お茶や、お餅なども、他の支援団体に呼びかけて提供していただく。

演奏日時　：2012年1月3日(火)　13:00開演　(予定)　　午前中に着物の着付け教室開催

演奏会場　：宮古市　グリーンピア田老　アリーナ　(予定)

3) 招待者

仮設住宅に入居している方々と、近在、近郊に住まわれている方々にも積極的に声掛けして地域交流を図っていただく。

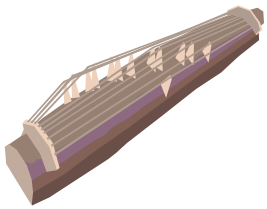
4) 演奏者

神戸大学大学院　国際協力研究科教授　　金子　由芳

今回の大震災では、宮古市を中心として自らボランティア活動を行いながら災害応急支援制度に関する調査を行い、現行法の問題点の整備、生業被災者・高齢被災者など権利弱者に対する支援制度など現場主義の視点で調査研究を行い、関係各省への提言として取りまとめている。その一方で、趣味の箏演奏(日本当道会)をご近所の高齢者に披露して、共に音楽に楽しむなど、幅広い活動を行っている。

その他の演奏者、支援協力者など記載

☆☆☆　歳末～お琴コンサート　☆☆☆



今年の年の瀬も、静かに過ぎゆこうとしています。
なにかと慌ただしい年末ですが、少しだけゆっくりと、ほっくりと、お琴と三味線の和やかな音色を、お楽しみいただければと思います。

演奏者は、ボランティアの親子デュオで“はまぎく”と申します。日頃は公民館などを回って演奏しております。時節がら、お正月を迎える寿ぎ歌や、わらべ唄など演奏しますので、ご一緒に口ずさみ、どうぞお楽しみください。お茶やお菓子も用意しております。

日時：　１２月２８日（水）　　３時より
場所：　中里仮設住宅集会所
演奏曲目：　万歳、日本のわらべ唄、祇園小唄、千鳥の曲、など

演奏終了後に、楽器を触ってお楽しみいただけます。
また、リサイクルの着物をお持ちしますので、もしお気に召したらご遠慮なくお持ち帰りください。

それではお楽しみに！！

✿ ✿ ✿　歌　詞　カ　ー　ド　✿ ✿ ✿

日本のわらべ唄

✿お江戸日本橋　お江戸にっぽんばし　ななつだち　はつのぼり
行列そろえて　あれわいさのさ
こちゃ　たかなわ　夜明けのちょうちん消す
こちゃえ　こちゃえ

✿とおりゃんせ　とおりゃんせ　とおりゃんせ
ここは　どこの細道じゃ　天神さまの細道じゃ
ちょっと通してくだしゃんせ　御用のないもの通しゃせ
ぬこの子の七つのお祝いに　御札をおさめに参ります
行きはよいよい　帰りはこわい
こわいながらも通りゃんせ　通りゃんせ

✿てまりうた　てんてんてん　てんじんさまのお祭りに
てんてん　てまりを買いました
てんてん　てまりは　どこでつく
梅のお花の　下でつく　下でつく

✿山寺の和尚さん　やまでらの　おしょさんは　まりはつきたし
まりはなし　猫を　かんぶくろに　押し込んで
ポンと蹴りゃ　ニャンと鳴く
ニャンが　ニャンと鳴く　よーいよい

✿✿✿ 歌詞カード ✿✿✿

祇園小唄

1　月はおぼろに　ひがしやま　かすむ夜毎の　かがり火に
夢もいざよう紅桜　しのぶ想いを振り袖に
ぎおん　恋しや　だらりの帯よ

2　雪はしとしと　丸窓に　つもる逢瀬の　さしむかい
ほかげ　冷たく小夜ふけて　もやい枕に　川千鳥
ぎおん　恋しや　だらりの帯よ

千鳥の曲

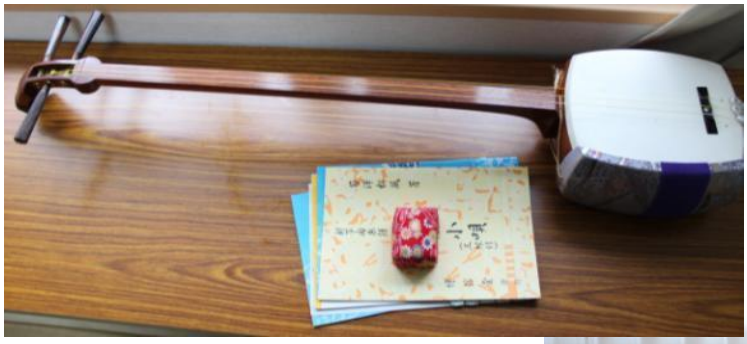
塩の山　さしでの磯に　住む千鳥　君が御代をば　八千代とぞ鳴く

淡路島　通う千鳥の鳴く声に　幾夜　ねざめぬ　須磨の関守

新松づくし

うたい　はやせや　大黒
一本目には　池の松　　二本目には　庭の松　　三本目には　下り松
四本目には　志賀の松　　五本目には五葉の松
むっつ　昔は高砂の　尾上の松や　曽根の松
ひち本目には　姫小松　　八本目には　浜の松
ここのつ　小松を植えならべ　　とおで　豊受の伊勢の松
この松は有情の松にて　情け有馬の松が枝や　くどけばなびく相生の松
またいついつの約束を　日を待つ時待つ　暮れを待つ
連理の松の契を込めて　福大黒をめいさいな

歳末箏コンサート　報告　(2011-12-28～12-30)



神戸大学教員
金子　由芳　先生とお嬢様
金子　千尋ちゃん(小5)
の親子デュオ**「はまぎく」**

「はまぎく」の花言葉は
「逆境に立ち向かう」
東北地方沿岸部に自生する可憐なお花です。花言葉通りに見事に復興して花開いてもらいたいと思います。

お箏の楽譜。流派によって横書きとなったりするそうです。

しなやかな指使いから生まれる音色は、癒しの音色です。「琴線に触れる」 まさに、日本人の心に響く音色です。

☆経験者だという三河さんの目が輝いています。下のヘッポコトリオとの姿勢の違いは、一目瞭然。

サクラとして連れてったボランティアだけど、他の人に譲らなかったよ、このバカたれは。KY?

☆ボランティアに来て、お琴に触れられるなんてラッキーだね。正座が板についてる外人さんでした。でも、英語で解説できなかった・・・　まあ、わびさびの国だから???

お箏の教本雑誌にでも載せたいくらいの姿勢ですね。美しいの一言です。この箏の演奏会を通じて、復興支援の一助にならないか、金子先生と協力して考えてみたいと思います。

特設着物頒布会の模様

支援物資というのも失礼なほどの着物を、被災者の方々にお配りしました。

本当に、あっという間でしたが、黄色い歓声と、笑顔が溢れてました。お正月に間に合って良かった。
「着物来て、初詣に行く‼」と、張り切ってる人、成人式に紛れこんでみる」という、不届き者?いやいや、「娘の成人式に着せてあげたい」など、人それぞれに想いは違うけど、本当に喜んでおられました。支援して頂いた方々のご協力に深く感謝します。

演奏時に装着する爪
お高そう･･･素手で触れない怖さがあり、緊張します。右写真のお婆ちゃんも、嬉しそうに琴を弾いていました。

正しいお正月の過ごし方。
着物に、けん玉
拍手です。

【宮古社協　デイケアセンターほか　(2011/12/28)】

歳末箏コンサート　in 実田（2011-12-29）

お茶っこ飲みながら、お箏を聴いてまったりと、
いい笑顔です。

じれったくて、つい手が出てしまったお箏の先生。って感じ?

真ん中の女性も非常に気がかりだった一人です。ずっとPTSDで苦しんでいましたから。これでも表情が穏やかになってきています。

ちょびっと祇園の雰囲気。
熱燗一本と、小唄?で一杯

考えてみたら、すごい贅沢なひと時だったんですよね、先生とお嬢様に感謝です。

千尋ちゃんの若々しい音色もとっても素敵でした。
演奏するたびにどんどん上手くなってるし、本当に驚きです。
ブラボーじゃなく、女性冠詞だからブラーヴィ?

「はまぎく」歳末箏コンサート　in 河南

2011-12-30

音楽はいいよね!!和洋を問わないし、言葉の壁を簡単に越えられるし。

これは、笑ってごまかしてるな、絶対!!

このちびっこたちも、いろんな企画に参加してくれるね。いろいろ吸収して将来に役立ってくれたらいいな。